

擬似マイクロデータ（平成 16 年全国消費実態調査）の分析*

ーQuantile regressions によるエンゲル曲線の推定ー

澤野 孝一朗**

名古屋市立大学

2014 年 4 月

要約

この論文の目的は、独立行政法人 統計センターが試行提供する擬似マイクロデータ（平成 16 年全国消費実態調査）を利用して、Deaton(1997)の Quantile regressions によるエンゲル曲線の推定を行うことである。本稿では Stata によるデータ管理を行い、分析データ・ファイルを作成した。分析は、食料と医療サービスに関して行った。Quantile regressions の Quantile は 10th, 50th, 90th percentiles の 3 つである。分析の結果は、次のとおりである。

(1) 食料の支出シェアは釣り鐘型に近い分布であったが、医療サービスの支出シェアは右裾に大きく広がる分布となっている。(2) どの percentile においても食料、医療サービスは必需財であった。(3) 食料はより豊かな家計になればなるほど、その嗜好のばらつきは小さくなるが、医療サービスはその逆の傾向を持った。

キーワード：擬似マイクロデータ、全国消費実態調査、Stata によるデータ管理、エンゲル曲線、Quantile regressions

JEL Classification Number: D12, I10, C81

* 本論文の分析には、「擬似マイクロデータ（平成 16 年全国消費実態調査）」（独立行政法人 統計センター）を利用しました。擬似マイクロデータは集計表から作成したマイクロデータ形式の擬似的なデータセットであるため、これから導かれた分析結果は実証研究の結果として見なすことができないことに留意する必要があります。本研究は JSPS 科研費 24530259 の助成を受けたものです。ここに記して感謝いたします。なお本稿中の誤りについては、すべて筆者の責にあります。

** 名古屋市立大学大学院 経済学研究科
〒467-8501 愛知県名古屋市瑞穂区瑞穂町字山の畑 1
Tel: 052-872-5754, Fax: 052-871-9429,
Email: sawano@econ.nagoya-cu.ac.jp